

平成22年度 岡山大学公開講座募集要項

1. 名 称 大学院社会文化科学研究科公開講座
東北アジアの幸福観—日本と中国を中心に—
2. 講座の概要 東北アジア、すなわち中国や日本(韓国を含む)には共通の幸福観が存在する。それは原始仏教が人間の欲望を「苦」の根源として悪と見るのとは異なり、人間の生命体としての、また社会的存在としての自然な欲望を肯定し、その欲望の実現を幸福だとする観念である。この講座では、日本と中国を中心に、我々の幸福観を考えてみたい。また東北アジアの幸福観と死生観を明らかにするには、西欧の幸福観と比較することが必要である。西欧の幸福観から見た東北アジアの幸福観の特徴をも浮き彫りにしたい。
3. 期 日 平成22年11月6日(土)～11月27日(土) 13時30分～16時00分
4. 会 場 岡山大学文化科学系総合研究棟 共同研究室(2階) (裏面参照)
5. 受講定員 100名 (受講資格は特にありません)
(先着順に受け付け定員になり次第締め切ります)
6. 受講料 無料
7. 修了証書 講義4回のうち3回以上受講された方には、修了証書を授与します。
8. 受講申込方法
 - ① 受付期間 平成22年10月4日(月)～10月29日(金)
※郵送、Webによる申込み(岡山大学のホームページからも申込みできます)又は持参によりお申してください。(電話による受付は行っていません。)
岡山大学公開講座案内ホームページ: <http://www.okayama-u.ac.jp/tp/cooperation/koukaikouza.html>
なお、持参される場合は、土・日曜日・祝日を除く平日の9時～17時の間にお越しください。
 - ② 申 込 先 岡山大学社会文化科学研究科等庶務係 (裏面参照)
〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 (Tel. 086-251-7345)
 - ③ 提出書類等 ア. 受講申込書(Web申込みの場合は、不要です)
イ. 受講料(現金書留又は郵便普通為替としてください。また、Web申込みをおこなう場合は、当日持参してください。)
※受講時までに受講料の納入がなされない場合は、申込みを取り消させていただきます。
ウ. 返信用封筒(80円切手を貼り、住所・氏名を明記したもの。Web申込み若しくは、持参される場合は不要です。)
9. 開 講 式 11月6日(土)13時20分から開講式を行いますので、初回は少し早めに会場にお集まり願います。
10. 閉 講 式 11月27日(土)16時00分から閉講式を行います。
11. 講義日程・講師等 (講師及び講義題目等は都合により変更することもあります)

No.	月 日	講 義 題 目	講 師
1	11月 6日(土)	題目：中国人の幸福観 —陶淵明と白居易を素材として— 概要：陶淵明と白居易は、人として生きて味あえるあらゆる喜びを味わい尽くして死んでいった。二人の幸福観が中国人の幸福観を代表するものであることを語る。	教授 下定雅弘
2	11月13日(土)	題目：近世日本における道徳と幸福 —武士と商人の場合— 概要：日本倫理思想史の観点から、近世日本において、人々は道徳と幸福との関係をどう考えていたのかを考える。武士と商人の間には、道徳と幸福の捉え方には違いがあったことを示すことになる。	教授 高橋文博
3	11月20日(土)	題目：西洋の幸福観 —古代ギリシアを原点としつつ— 概要：西洋人の幸福観の形成に決定的影響を及ぼした2つの源流、古代ギリシア人の幸福観とキリスト教の幸福観を概観する。とくにアリストテレスの幸福論とトマス・アキナスの幸福論、また近代社会の幸福論を比較検討する。	教授 荒木 勝
4	11月27日(土)	題目：日本の造形と自然観 —景の中の幸福をめぐって— 概要：建築と襖絵、そして庭とが有機的に連関して創り出す日本の空間、「自然の中に生きること」をテーマとした日本の造形を数々の画像をまじえて紹介し、そこにあらわれる日本の幸福観について考える。	准教授 須賀みほ

----- 切 ----- 取 ----- 線 -----
(大学院社会文化科学研究科)

受講 申込 書	氏 名	年 令	性 別	職 業	現 住 所	※受付番号
	(フリガナ)	歳代	男 ・ 女		〒 電 話： E-mail：	(平成 . . .)

受講希望日に○をつけてください。

1. 11月6日(土) 下定	3. 11月20日(土) 荒木	※ 計 回 受講
2. 11月13日(土) 高橋	4. 11月27日(土) 須賀	

※印欄は記入しないでください。

ご記入いただきました個人情報につきましては、本講座の受講管理の他、本学より公開講座にかかわる開催情報などをご案内・ご連絡する際に使用させていただきます。
ご案内を希望されない場合は、お申し出ください。(案内等を希望しない □)

平成22年度

岡山大学大学院社会文化科学研究科公開講座

東北アジアの幸福観—日本と中国を中心に—

日時 11月6日(土)～11月27日(土) 13:30～16:00

場所 文化科学系総合研究棟 共同研究室(2階)

募集人数 100名(先着順)

受講料 無料

東北アジア、すなわち中国や日本(韓国を含む)には共通の幸福観が存在する。それは原始仏教が人間の欲望を「苦」の根源として悪と見るのとは異なり、人間の生命体としての、また社会的存在としての自然な欲望を肯定し、その欲望の実現を幸福だとする観念である。この講座では、日本と中国を中心に、我々の幸福観を考えてみたい。また東北アジアの幸福観と死生観を明らかにするには、西欧の幸福観と比較することが必要である。西欧の幸福観から見た東北アジアの幸福観の特徴をも浮き彫りにしたい。

- | | | | | |
|---|--------|-----------------------------|-----|---------|
| ① | 11月 6日 | 中国人の幸福観
—陶淵明と白居易を素材として— | 教授 | 下 定 雅 弘 |
| ② | 11月13日 | 近世日本における道德と幸福
—武士と商人の場合— | 教授 | 高 橋 文 博 |
| ③ | 11月20日 | 西洋の幸福観
—古代ギリシアを原点としつつ— | 教授 | 荒 木 勝 |
| ④ | 11月27日 | 日本の造形と自然観
—景の中の幸福をめぐって— | 准教授 | 須 賀 み ほ |

問合せ先 岡山大学社会文化科学研究科等庶務係 TEL086-251-7345

主 催 岡 山 大 学